

= 普及情報 =

No. 3

令和元年6月25日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題

斐川町集落営農組合連絡協議会が第25回通常総会を開催

(ダイジェスト)

令和元年6月20日に第25回斐川町集落営農組合連絡協議会通常総会が協議会員103名、来賓、関係機関含めて合計120名の参加のもと、盛大に開催されました。

事業計画として、ものづくり、ひとづくり、しくみづくりを行っていくこととし、ものづくりでは、園芸を取り入れた経営の複合化と美味しまね認証取得に向けた活動を実施していくこととなりました。

はじめに、協議会会長から、異常気象が続く中で、基本技術を励行する農業を行うことが大事であり、斐川町の水田面積の6割を担うこの協議会が一つの方向を向いて、世界に打って出られる農業に取り組みたいとの力強い決意表明がありました。

また、JAしまね斐川地区本部の本部長からは、JA全体で取扱額増加を目指して事業をすすめており、スマート農業やGAPの取り組みを支援する体制をとり、全国に発信できるような成果や普及を期待しているとのあいさつがありました。

この協議会は38組織で構成されており、大規模な法人から、10ha規模の営農組織まで様々な経営体が加入しています。通常総会には、構成する38組織の組合長だけでなく、各組織2～3名の出席があり、総勢120名の参加者により盛大に開催されました。

今年度の事業計画には、後継者育成・事業継承に向けた活動とともに、斐川地域の農業・農村に適合する組織体系や広域組織化・組織内連携について取り組むことが盛り込まれ、本協議会が一体となって斐川地域の農業を牽引していく内容となっています。

当日は組合長以外にも若手組合員の参加があり、意見交換ではホームページで地域の営農活動を紹介している取り組みも共有されました。

当普及部としては集落営農組織の声を聞きながら、関係機関と連携し、斐川町水田農業の新たな発展を支援していくことにしています。